

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課		
事務事業名	住宅設備改善費助成		事業コード	11130

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	福祉文化の創造とバリアフリーの推進	~63年度
施策名	第3施策	バリアフリーにより福祉のまちづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

市重度障害者住宅設備改善費助成要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
在宅の重度障害者又は保護者が住宅設備を障害者に適するように改善するための経費等を助成し、生活環境整備の促進を図ることにより、在宅生活を容易にし、福祉の増進を図ることを目的とする。		身体障害者手帳1・2級の者	
		対象数	81人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
対象工事等 ・浴室、便所、玄関、台所、廊下等の改善工事 (敷地内であれば居宅外も可) ・天井走行式移動リフトの設置 ・環境制御装置の設置 ・視覚障害者用音声インターネットソフトの購入 ・聴覚者情報バリアフリー・化支援に要するパソコン周辺機器及びソフト等の購入 ・助成額 19,737千円 ・助成人数 81人		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~年度
		なし	

4 評価指標

指標名	住宅設備改善助成達成率		
指標式	実施助成額 / 予定助成額 × 100		
指標設定の意図	住宅設備改善予定助成額に対する実施助成額の達成率		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 83	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	16,479	9,690	19,737	15,332	18,688
	人員・時間数	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)
	人件費	842	842	842	842	842
	その他経費					
	合計	17,321	10,532	20,579	16,174	19,530
特定財源		7,760	4,844	10,251	7,666	8,693

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 83.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{83.0}{100.0} \times 100 = 83.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	補助対象種目の追加に伴い、予算拡大及び助成者増加を見込んだが、実績として現れなかった。しかし、前年度と比較すると大幅な伸びとなっている。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	在宅生活を容易にし、居宅内の住宅設備を障害に適するように改善することは必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	補助金により助成事業が実施され、個々の障害者の必要に応じ適切な助成が行われている。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	扶助の性質上、妥当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	障害者の生活を助けるための支援として満足を得られている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	在宅生活を容易にし、居宅内の住宅設備を障害に適するように改善することにおいて当該事業は有効といえる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 平成13年度に周辺機器及びソフト等の購入が補助対象種目として追加されるなど、時代の流れに即して、より必要性の高いものを助成することで、成果向上が見込まれる。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 必要に応じて、適切な助成を行われている。</p>

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	他自治体と大きな差異はない。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	在宅生活を容易にし、居宅内の住宅設備を障害に適するように改善することにおいて当該事業は有効といえる。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--